



校長室より

18日の給食に、セレクトデザートという聞き慣れないメニューがありました。これは、子どもたちがあらかじめ二つのデザートから、好きな物をリクエストしておくものです。今回は「カップデザート」と「スイートポテト」の二種類から選びました。私の子どもの頃は、給食と言えばお腹を満たす物、そして栄養を補給する物であるという色合いが濃く、こんなデザートなど考えられませんでした。

そういえば、私が小学校に勤めた頃、給食に初めてケーキが出されました。密かに子どもたち以上に楽しみにしていた私は、給食に出された小さなケーキを美味しく食べていました。ところが・・・何となく子どもたちの表情が冴えないのです。「なあ、ケーキが出たのに、どうして喜ばないの?」と近くの子に聞くと、「だって、このケーキ堅いから。」「それに、甘すぎるよ。」との返事が返ってきたのです。



この給食に出されたケーキは、バタークリームケーキでした。子どもの頃、ケーキ屋さんではなく、町内のお菓子屋さんで、一個20円で買って貰ったケーキは、バタークリームでした。もちろんイチゴは本物ではなく、ジャムを固めたような代物でした。カステラはパサパサしていましたし、クリームは堅くて落としても形が崩れないほどでした。何日も日持ちしましたから、毎日駄菓子を買に行くとともに、横目でそのケーキを見ていました。そんなケーキですが、初めて買って貰ったときは跳び上がるほど嬉しかったのを覚えています。使ったスプーンは、使う前以上にピカピカするほどなめました。なめすぎて、スプーンの金属の味がしたように思いました。すぐに食べるのがもったいなくて、少しずつ少しずつ食べました。当時の子どもたちにとっては、こんなケーキでもとても貴重だったのです。20円のケーキが贅沢な時代だったのです。

時代が移り、ケーキは身近な物となりました。給食で初めてケーキが出された頃には、すでに生クリームケーキが出回っていたのです。だから、子どもたちが「甘すぎる」「堅い」と言ったのでしょう。そんな子どもたちの言葉を聞いて、心の中で「良い時代になったものだなあ」とつぶやきました。

でも、当時のようなバタークリームケーキ、もし見つけたら大人買いして、思いっきり食べてみたいなあなんて思います。それほど憧れの存在だったのです。もしかすると、バタークリームケーキに思い出のある方、いらっしゃるのではないのでしょうか。

明日は大晦日です

あわただしさもピークを迎えました。特にしなければならないことも思い浮かばないのに、「今年中に・・・今年中に・・・」と、気持ちだけが焦ってしまいます。師走とは、普段冷静なお坊様でも走り出す月、なんてこともよく聞きますが、本当にそうですね。「あっそうだ、換気扇の掃除がしてない。」「お雑煮に入れる餅菜を買い忘れてる。」「蛍光灯が切れている。」なんて、いろいろ思い出しながら、さっそく実行に移します。これも、お正月をのんびりと過ごすためですから、しかたありませんね。



今年は、伊勢神宮の参拝客がとて多くなりました。この年末年始も、伊勢志摩への旅行が人気だとの報道もありました。どんな状況になるのか、予想もつきません。ただ、わかっているのは、車の数が大幅に増えるだろうということ。国道23号線が通る御菌地内では、交通渋滞と交通事故が心配です。どうぞ、お子様には十分注意するようにご指導ください。

来年は午年

来年は午年ですね。たくさんある午に関する諺のうち、よく使うものだけを選んでみました。本当にたくさんありますね。

- ・生き馬の目を抜く
- ・馬に乗るとも口車に乗るな
- ・馬には乗ってみよ人には添うてみよ
- ・馬の耳に念仏
- ・犬馬の労
- ・将を射んと欲すれば先ず馬を射よ
- ・尻馬に乗る
- ・竹馬の友
- ・天高く馬肥ゆる秋
- ・馬脚を現す
- ・人間万事塞翁が馬
- ・馬耳東風
- ・馬齢を重ねる
- ・夕立は馬の背を分ける
- ・名馬に癖あり



良いお年をお迎えください

今年一年、御菌小学校教育活動に対して、ご支援・ご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。来年も、どうぞよろしく願いいたします。

来る平成26年が、皆様方にとって、幸多い一年となりますよう、お祈り申し上げます。どうぞ、良いお年をお迎えください。